

31日にオープンするコミュニティカフェ「K I I S A (キーサ)」は佐伯市大手町

佐伯にカフェ「キーサ」きょうオープン



高校生と大人 地域語り合う



内覧会のワークショップで、カフェ店内で使用する椅子の仕上げにチャレンジする高校生ら

【佐伯】高校生と大人や地域をつなぐことを目指すコミュニティカフェ「K I I S A (キーサ)」が31日、佐伯市大手町の白井歯科医院跡にオープンする。高校生に地域の大人との交流を通じて自分たちが暮らす佐伯のことを知ってもらい、地域とのつながりなどを育む場にと同市の一般社団法人「K I I S A」が設けた。

「つながり」を育む場に

法人は上浦瀬会公園キャンプ場(同市)経営の富崎一真さん(37)と市内船頭町と市職員の河野功寛さん(35)と同一が昨年6月に設立。拠点施設となるカフェは県の地域活力づくり総合補助金を活用し、空き家だった同医院を改装した。

さいき城山桜ホールから京町通り方面へ徒歩数分。2階が落ち着いた雰囲気のカフェになっており、高学生の居場所として勉強や各種活動にも利用できる。営業時間は平日(月、火曜休み)が午後3〜7時、土曜日が午前11時〜午後7時、日

曜が午前11時〜午後5時。メニューはホットコーヒー(450円)、ワッフルブレイン(350円)など。今月28日に内覧会があり、大勢の市民が足を運んだ。高校生と大人が協力して店内で使用する椅子を仕上げるワークショップや、田中利明市長と同法人理事の富崎さん、河野さんらによるトークセッションがあった。

富崎さんと河野さんは「高校生に佐伯のいろんなことを知ってほしい。知ること視野は広がり、選択肢も増えるはず。後押しできるような場になれば」と抱負。「今は種をまいた段階。成果が見えてくるのは数年後で行政主導では難しい。ドシッと腰を据えて取り組み、一緒に町づくり活動などできれば」と話した。

(安部亮)